

### ISO14001 認証取得状況 (2007年9月30日現在 P.19掲載以外の事業所)

会社名	事業所名	認証取得
エア・ウォーター株式会社	ベルパール部 防府工場	2005年9月
大宝産業株式会社	*低温機器事業部	2001年5月
	本社、横浜支社、甲府支社、名古屋支社、貿易事業部	2004年9月
大同エプロダクツ・エレクトロニクス株式会社	*堺、*尼崎特殊ガスセンター	2001年5月
	*つくば特殊化学品センター	2004年5月
株式会社エア・ウォーター企業	*カーリース事業部	2001年5月
株式会社マイツル	*本社、エヌパイ事業部 尼崎工場	2001年5月
狭山運輸株式会社	*尼崎営業所	2001年5月
宝塚酸友運送株式会社	*尼崎営業所	2001年5月
酸和運送株式会社	*兵庫営業所	2001年5月
	*名古屋営業所	2005年9月
タテホ化学工業株式会社	本社工場、有年工場	2002年3月
タテホセラミック株式会社	*	2002年3月
エア・ウォーター・ソル株式会社	*岐阜工場大高倉庫	2005年9月
	岐阜工場、研究部岐阜駐在、品質保証部岐阜駐在	2006年1月
株式会社エア・ウォーター・マツハ		2005年12月

注1) 日本適合性認定協会 (JAB) が認定した審査登録機関による登録を受けたものを掲載しています。  
 注2) 事業所名欄の\*印は複合事業所における関連事業所としての認証取得しているものです。

### ISO9001 認証取得状況 (2007年9月30日現在 P.14掲載以外の事業所)

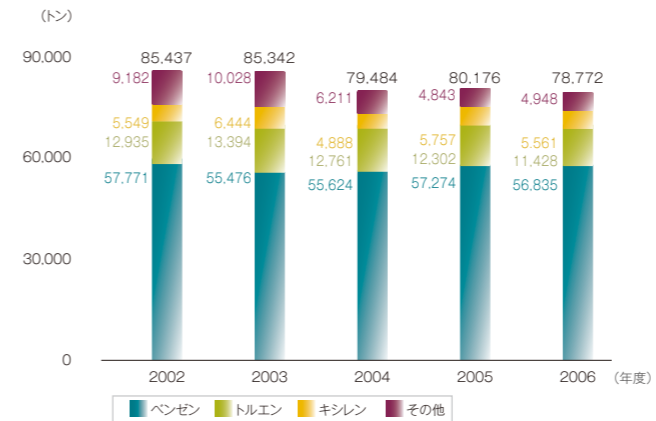
会社名	事業所名	認証取得
エア・ウォーター株式会社	*エコロツカ事業部	1998年8月
	北海道支社技術グループ、分析センター、苫小牧水素工場、特殊ガスセンター	2000年3月
	NV事業部	2005年4月
	ベルパール部 防府工場	2005年7月
タテホ化学工業株式会社	本社工場、有年工場、東京営業所、大阪営業所	1995年4月
エア・ウォーター・プラントエンジニアリング株式会社	営業本部西日本事業所、機器事業部 プラント機器部/低温・産業機器部、エンジニアリング事業部 電気計装部/プロジェクト部、品質管理室	1998年8月
エア・ウォーター・メンテナンス株式会社	*小倉事業所、*鹿島事業所	1998年10月
株式会社 クリオ・エアー		1999年2月
エア・ウォーター防災株式会社		1999年6月
大同エプロダクツ・エレクトロニクス株式会社		1999年10月
株式会社エア・ウォーター・マツハ		2000年1月
苫小牧共同酸素株式会社	*	2000年3月
共同炭酸株式会社	*	2000年3月
泉北酸素株式会社		2000年11月
エア・ウォーター・ソル株式会社	本社、岐阜工場、大阪営業部、研究開発部、生産本部、品質保証部	2001年5月
日本ファインガス株式会社		2001年5月
エア・ウォーター物流株式会社	石狩流通センター	2003年3月
東海エア・ウォーター株式会社	名古屋事業所、管理グループ、物流グループ、名古屋充填工場、名古屋産業営業所	2003年4月
舞鶴大同ガス株式会社		2004年1月
東中国エア・ウォーター株式会社	医療事業部、福山医療営業所、山陰営業所	2004年9月
エア・ウォーター・ハイドロ株式会社	本社、業務部、営業部、生産技術第一部、袖ヶ浦工場、二本木工場	2005年1月
株式会社マイツル	*エヌパイ事業部 尼崎工場	2005年4月
株式会社ダイオー	枚方事業所	2006年10月
エア・ウォーター炭酸株式会社	本社、東京営業所、市原工場	2006年12月

注1) 日本適合性認定協会 (JAB) が認定した審査登録機関による登録を受けたものを掲載しています。  
 注2) 事業所名欄の\*印は、複合事業所における関連事業所としての認証取得しているものです。

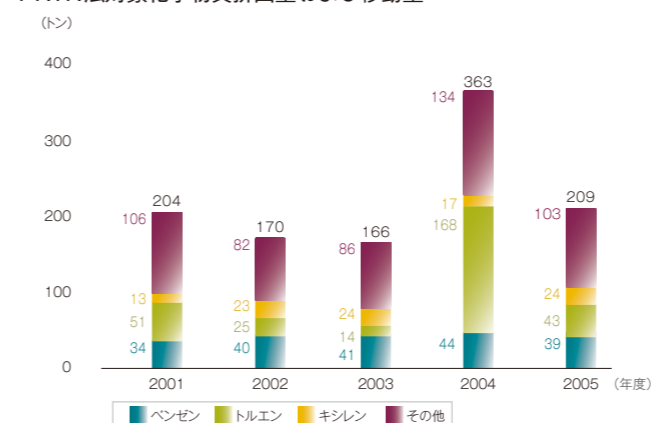
### 化学物質

エア・ウォーターの2006年度の対象化学物質の総取扱量は、2005年度より1,404トン減少(1.8%減)しました。また、排出量及び移動量は、前年度より154トン減少(42%減)しています。減少の原因は、ケミカル関連事業でトルエンの「廃油」としての排出が大幅に減ったためです。

#### PRTR法対象化学物質取扱量



#### PRTR法対象化学物質排出量および移動量



※集計範囲: エア・ウォーター本体の事業所+連結対象関係会社+連結対象外主要関係会社

### PCB廃棄物の保管

#### PCB保管事業所一覧 (オンサイト工場、ケミカル工場を除く)

保管事業所	廃棄物の種類	数量
エア・ウォーター株式会社	高圧コンデンサ	7台
	高圧コンデンサ	2台
エア・ウォーター株式会社堺事業所	絶縁油	75kg
	高圧トランス	1台
エア・ウォーター・サービス株式会社	高圧コンデンサ	1台
竹中高圧工業株式会社	高圧コンデンサ	1台
エア・ウォーター・ソル株式会社岐阜工場	高圧コンデンサ	1台
エア・ウォーター薬化株式会社	高圧コンデンサ	1台
岡山エア・ウォーター株式会社	高圧トランス	1台

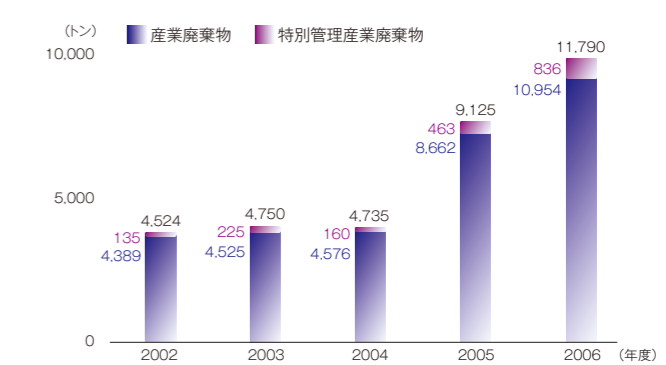
### 編集後記

本書は、当社にとって6冊目の発行となります。内容については、エア・ウォーターの「事業を通じた環境貢献」を知っていただきたいとの思いから、コア事業である産業ガス事業の中核となる「V/SU」の特集を組みました。物流の効率化によるCO<sub>2</sub>削減と技術者の英知を結集したプラント改良による環境貢献の新たなビジネスモデルをご紹介します。

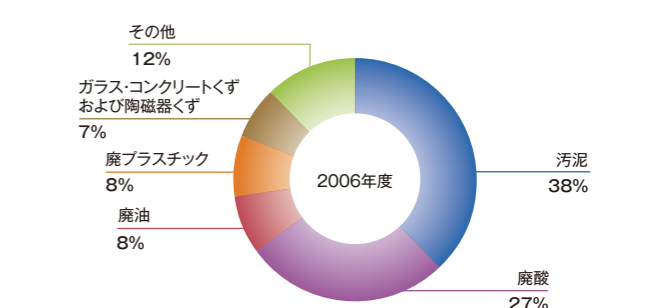
### 廃棄物

エア・ウォーターの2006年度の排出量は、2005年度に比べて2,665トン増加(29%増)しました。これは、ケミカル関連事業の廃酸排出量が大幅に増えたためです。

#### 産業廃棄物排出量



#### 種類別排出量比率

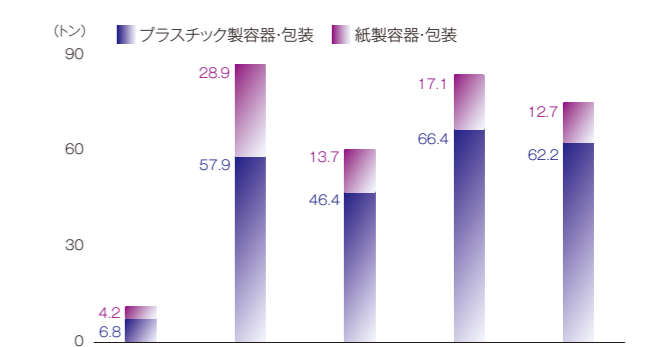


※集計範囲: エア・ウォーター本体の事業所+連結対象関係会社+連結対象外主要関係会社

### 容器包装リサイクル

エア・ウォーターでは、「容器包装リサイクル法」に基づき、財団法人「日本容器包装リサイクル協会」と再商品化委託契約を結び、容器包装のリサイクルを実施しています。該当は産業関連事業のエアゾル部門と生活関連事業の食品部門となります。2007年の報告(2005年度分)では、使用量は10%減っています。

### エアゾル・食品に用いた容器包装の量



※2004年報告から春雪さぶるが関係会社となり算定対象となったため大幅に増えております。  
 ※集計範囲: エア・ウォーター本体の事業所+連結対象関係会社

今回は、現場の取材を通して、「人」から伝わるエア・ウォーターの現状と今後の取り組みをお伝えすることを試みました。今後も取り組み状況を掲載するだけでなく、エア・ウォーターの姿を真摯に伝えていけるようブラッシュアップを図っていきますので、温かく見守っていただきご支援・ご鞭撻を賜れば幸いです。